

FMU 男女共同参画通信

第9号 June 2016

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。男女共同参画推進本部では、この4月に3年目を迎え、新しいメンバーとなりました。これから新体制で、男女共同参画の活動を行っていきます。今年度もよろしくお願ひ致します。

男女共同参画推進本部長の挨拶

本年の4月より、男女共同参画推進本部長に就任しました神経内科の宇川です。本学では、小宮先生をはじめとした皆様のこれまでの活動で、男女共同参画に関しては、かなり整備されている面があると思います。私は、日本神経学会でもキャリアパス委員会担当をしており、様々な大学の状況を見てきましたが、本学は平均より進んでいると思います。神経内科は女性の先生が多くおり、女性の重要さを実感しております。今年の日本神経学会では、表彰された医師が、お子さんをだっこしながら、表彰状を受け取っていました。このように学問の分野でも女性が活躍しております。医師に限らず、医療に関する職種では女性の活躍が目立っており、今後とも様々な面から条件を整え、女性の援助を行って行きたいと考えております。何かあれば、いつでも連絡下さい。



本部長 宇川義一

男女共同参画推進本部 新メンバーの紹介

- 男女共同参画推進本部 部長
○宇川 義一
(医学部神経内科学講座 教授)
- 男女共同参画推進本部 副部長
兼男女共同参画支援室 室長
○小宮 ひろみ
(性差医療センター 部長)
- 男女共同参画推進本部 室員
○安村 誠司
(医学部公衆衛生学講座 教授)
- 紺野 慎一
(医学部整形外科学講座 教授)
- 亀岡 弥生
(医療人育成・支援センター 教授)
- 丸山 育子
(看護学部基礎看護学部門 講師)
- 鈴木 朋子
(会津医療センター
漢方医学講座 准教授)
- 河原田 浩喜
(事務局次長)

男女共同参画支援室長の挨拶

本学に男女共同参画推進本部・支援室が設置され3年目にはいりました。昨年度までの2年間、就業継続支援・育児支援・復職支援、研究と生活の調和をはかるため研究支援員の配置、さらにスキルアップセミナーやキャリアアップセミナー、FMUカフェ等さまざまな取組をおこなってきました。

今年度から、そのひとつひとつの取組を強化してまいります。そのため、「ワークライフバランス部門」「女性医師/教員就労支援部門」「キャリア支援部門」「広報・意識啓発部門」の4つに部門化し、各部門において男女共同参画推進協力員の先生方のお力をお借りし、取組の充実を図ります。本学に男女共同参画が定着し、「男女共同参画」という言葉が特別なものでなくなるように今後とも尽力していく所存です。引き続き皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



室長 小宮ひろみ

男女共同参画推進本部 H28 年度 男女共同参画推進員研修会

去年4月より「男女共同参画推進行動計画」に基づき、各所属長を男女共同参画推進員として配置し、各所属の男女共同参画の意識の浸透と確実な推進を図ることを目的としております。

その男女共同参画推進員を対象として、去る5月18日(水)に株式会社東邦銀行人事部職員活躍推進室室長 戸田満紀子氏をお招きし、研修会を開催しました。

戸田様には、女性活躍推進に向けた取組やイクメン推進・イクボスの育成など御社での先進的な男女共同参画の取組についての貴重なお話をいただきました。改めて男女共同参画の重要性を認識することができました。



H28年度 FMU 育児サポート事業説明会を開催しました

5月27日(金)に「育児サポート事業説明会」を開催しました。説明会では、本学の病児病後児保育「すくすく」、育児サポート事業「こども緊急サポートネットワークふくしま」、「福島市ファミリーサポートセンター」のスタッフの方々に事業の概要、お申込み方法などについてご説明いただきました。

また本支援室では、随時お申込みなどを受付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

HPにも掲載しておりますので、HPをご覧ください。

<http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

【連絡先】

E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp
Tel : 024-547-1657
内線 : 2807



育児サポート利用者の声

医学部 Aさん より

「見て見て！カタツムリを見つけてきたよ！」家に帰ると長女が誇らしげに見せてくれました。ペットボトルの中には葉っぱとカタツムリが1匹。次女も「今度わたしも見つける！」と盛り上がりました…これは育児サポートのサポーターさん宅から帰ってきたときの話です。近所に親族不在で共働きのため、2人の子どもを預かってもらえる、この育児支援はとても助かります。また、サポート担当の方の配慮もあり、普段なかなかできない経験もさせていただいており、子どもも満足しており、私たち親も大変感謝しております。これからも宜しくお願い致します。



H28年度下半期研究支援のニーズ調査を実施致します

ライフイベント(出産・育児・介護・看護等)を抱えた教員の研究支援を行っております。

つきましては、**7月末**にニーズ調査(配置希望調査)を行います。

支援期間：H28年10月1日～H29年3月31日まで

1. 対象者：本学の主に医学部・看護学部・会津医療センターに所属する助手以上(大学院生も含む)の研究者(性別は問いません)のうち、①～④にあてはまる教員。

- ①妊娠中
- ②家庭において、小学校6年生までの児童の主たる養育者である
- ③同居・別居に関わらず市町村の要介護認定を受けている親族の主たる介護者である
- ④その他、上記に準ずる(家族の看病をしている等)状況

2. 支援を希望される方は、7月下旬に配布する調査票にて詳細をご確認ください。

育児サポート事業者の声

サポーター Bさん より

送迎と預かり支援をしています。初めて我が家に向かう車中では「どんなお家？誰がいるの？2階はある？」と興味津々でした。孫たちと一緒にいる時はとても賑やかで、その遊び声や笑顔に私が元気をもらっています。今後の成長がとても楽しみです。



サポーター Cさん より

折り紙やおままごと。時にはブランコや鬼ごっこ。何でも器用な姉妹。ある日は、庭で花を摘んだり、虫を探したり…。おしゃべりも楽しく、今では私の孫のような存在。これからも両親の育児方針を尊重し、二人が安全に過ごせるように見守ってまいります。

Information

男女共同参画支援室では、様々な意見交換が行える場として「FMU カフェ」を開催しております。

今回は、国際学会等で役立つ論文の書き方やコミュニケーションスキルについて学ぶ「イングリッシュカフェ」を開催します。

FMU イングリッシュカフェ開催のお知らせ

日時■平成28年7月12日(火) 17:30~18:30
場所■1号館(管理棟)1階 カンファランス室1
発表■『Power Points for your PowerPoint』
Presenter : Kenneth Nollet 教授
Facilitator : Paul Martin 講師

英語のパワーポイント作りをアドバイスします！

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

【連絡先】 E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel : 024-547-1657 / 内線 : 2807

HP : <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ
コーディネーター 氏家 智亜紀